

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

都道府県知事

岐阜県知事 古田 肇 殿

提出者 長良製紙株式会社

住 所 岐阜県瑞穂市生津980番地

氏 名 長良製紙株式会社
代表取締役 家田 聖吾

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 058-327-2220

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長良製紙株式会社
事業場の所在地	岐阜県瑞穂市生津980番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	パルプ、紙又は紙加工品の製造業
② 事業の規模	51,937万円
③ 従業員数	39人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>原材料 脱墨工程 抄紙工程 断裁工程 包装工程 出荷</div> <div>↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓</div> <div>脱水装置 焼却炉</div> <div>1. 脱水汚泥（中間処理） 1. 焼却灰</div> <div>↓ ↓</div> <div>1. 金属クズ（中間処理再生） 1. 木クズ（中間処理再生）</div> <div>2. プラスチック（中間処理） 2. プラスチック（中間処理）</div>

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理体制図)

① 公害防止統括責任者(社長室 設備技術担当 統括 神山 智伸)

② 産業廃棄物施設管理者(抄紙部 部長 新川 耕司)

③抄紙課/加工課

*製造工程から排出される廃棄物及び
有価物の量、質の把握

*各工程での原材料使用量の把握

*廃棄物減量のための工程の見直し

*原材料の搬入に伴う包装廃棄物の
量及び質の把握

*廃棄物ごとの分類、保管施設の管理

④総務部

*委託業者の選定

*委託業者と委託契約の締結・保管

*委託業者への処理の発注

*マニフェストの運用

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙のとおり

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・脱水汚泥、焼却灰、金属くず、木くず、廃プラスチック類 ・各部門が分別内容及び保管場所を社員に周知している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社内で排出される全ての廃棄物の分別をしているので 新しく分別をする廃棄物は有りません。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1638 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1876 t	t
②計画	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・5年度に引続き、定期的修理日程を設定し、焼却炉および脱水装置の突発的停止回数を削減する。 ・排水中のパルプ損失を抑えるため、定期的修理日に網破れなどを確認、修理する。 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	焼却灰	金属くず ^a	木くず ^a	廃プラスチック
	排 出 量	1638 t	481 t	9 t	9 t	7 t
	(これまでに実施した取組) ・脱墨工程及び抄紙工程で生じる排水中のパルプ損失防止の強化を図り、汚泥・焼却灰の削減に取り組んだ。 ・定期的修理日程を設定し、焼却炉および脱水装置の突発的停止回数を削減した。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	焼却灰	金属くず ^a	木くず ^a	廃プラスチック
	排 出 量	1876 t	550 t	20 t	9 t	7 t
	(今後実施する予定の取組) ・5年度に引続き、定期的修理日程を設定し、焼却炉および脱水装置の突発的停止回数を削減する。 ・排水中のパルプ損失を抑えるため、定期的修理日に設備の保守点検を実施する。 ・生産増の見込みがあり排出量も増える可能性があるが、最小限に抑える様、社員に周知・徹底する。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	焼却灰	金属くず	木くず	廃プラスチック
	全処理委託量	0 t	481 t	9 t	9 t	7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	481 t	t	t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	9 t	9 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・定期的修理日程を設定し、焼却炉および脱水装置の突発的停止回数を削減した。 ・発生量の目標値を設定し、社員に周知・徹底を図ると共に、実績値について品質・環境委員会にて検証した。 ・焼却灰は、ダイオキシン類の測定分析をし、安全性を確保している。 ・産業廃棄物の運搬、処分を委託する場合は、該当する産業廃棄物の許可を受けている業者に委託する。 ・年1回、委託業者の処理施設の状況を実地に調査し、記録を保管する。 ・金属くず、木くずは、中間処理後再生されている。 					

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	焼却灰	金属くず	木くず	廃プラスチック
	全処理委託量	0 t	550 t	20 t	9 t	7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	550 t	t	t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	20 t	9 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・5年度に引続き、定期的修理日程を設定し、焼却炉および脱水装置の突発的停止回数を削減する。 ・排水中のパルプ損失を抑えるため、定期的修理日に網破れなどを確認、修理する。 ・発生量の目標値を設定し、社員に周知・徹底を図ると共に、実績値について生産部、品質/環境委員会にて検証する。 ・焼却灰は、ダイオキシン類の測定分析をし、安全性を確保する。 ・産業廃棄物の運搬、処分を委託する場合は、該当する産業廃棄物の許可を受けている業者に委託する。 ・年1回、委託業者の処理施設の状況を実地に調査し、記録を保管する。 ・金属くず、木くずは、中間処理後再生されている。 					